

ホソナガベニハノリ

イギス目コノハノリ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

なし

Hypoglossum nipponicum Yamada

選定理由

羽咋市柴垣がタイプ産地だが、県内での発見例は少ない。穴水町で採集されている。

形態

体は9cmくらいまでのゆるく絡み合った塊を形成し、枝は線状で細く幅約1cm。質は薄い膜質。

国内分布

本州日本海岸。

県内分布

羽咋市、門前町、穴水町、七尾市から報告がある。

生態

漸深帯に生育する。

生育地の条件

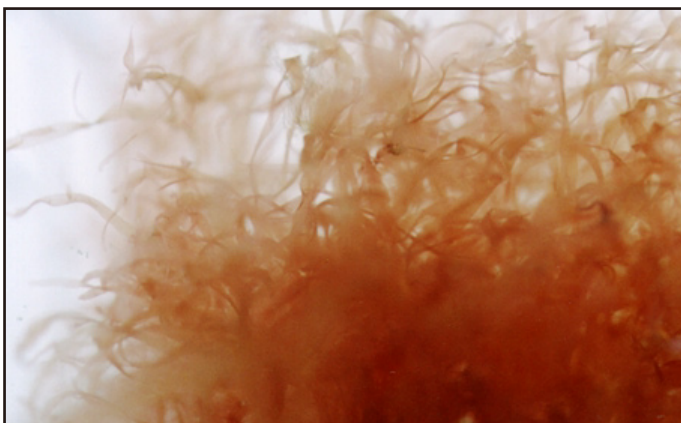
富山県では、時々砂を被るような転石帯に多い。マクサなど他の海藻に着生することもしばしば。入善町沿岸に大群落があり、氷見市や魚津市などでも時折みつける。

生存の危機

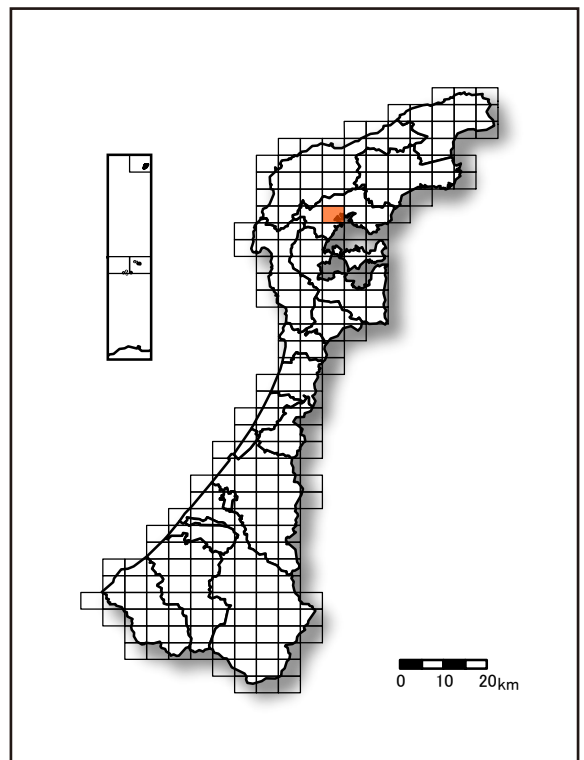
県内での生態はよく分かっておらず言及は避ける。

特記事項

今後、富山県の例を参考に、転石帯での調査が必要である。



写真提供者：藤田大介



県内の分布